

22年度総括・事業到達（「第18回通常総会議案書」第1号議案より抜粋）

2022年度事業報告書、決算関係書類等 (剩余金処分案及び監査報告含む)承認の件

今年度はコープCSネット『第6次中期計画（2020～2022）』の最終年となり、「未来につながる事業と活動への挑戦」をコンセプトに、新たな価値創造「魅力ある商品づくり・人づくり・組織づくり」の実現に向け、会員生協と共に様々な取り組みを進めました。

- I 「2022年度事業方針」では、コロナ禍による生活スタイルの変化に機敏に対応した商品事業や小売業における競争力強化に向けて、会員生協との連携を一層強化して宅配リノベーションやDXの取り組みを積極的に進めました。

1. 2022年度 商品事業実績

4月1回～3月5回までの中国地区・四国地区9会員生協受注高は、食品部門で786.9億円（予算比101.0%、前年比99.0%）、家庭用品部門で225.3億円（予算比97.0%、前年比97.7%）、全体で1,018億円（予算比100.2%、前年比98.8%）と予算は超過しましたが前年実績は未達となっています。利用人数は前年並み（前年比99.9%）となりましたが、商品価格の相次ぐ値上げにより、点単価はアップ（前年102.3%）していますが、実利用点数の落ち込み（前年比96.7%）が、受注高前年未達に大きく影響しました。

2022年度4月1回～3月5回(金額単位:千円)

	全媒体受注高			食品受注高			家庭用品受注高		
	実績	予算比	前年比	実績	予算比	前年比	実績	予算比	前年比
とつとり	6,350,393	101.6%	100.1%	5,291,813	102.1%	100.2%	1,016,545	98.2%	98.9%
しまね	7,920,049	100.5%	99.3%	6,606,559	101.0%	99.5%	1,271,057	97.2%	98.0%
おかやま	26,915,932	99.9%	98.5%	22,557,142	100.1%	98.5%	4,182,582	97.3%	97.9%
ひろしま	35,486,949	101.6%	98.6%	29,778,471	102.0%	98.7%	5,479,539	98.7%	97.7%
やまぐち	13,672,323	97.8%	99.2%	11,443,665	98.0%	99.2%	2,141,355	95.5%	98.6%
中国地区計	90,345,647	100.4%	98.8%	75,677,650	100.7%	98.9%	14,091,078	97.6%	98.0%
とくしま	2,061,658	96.8%	96.3%	590,781	101.2%	96.4%	1,470,877	95.1%	96.2%
かがわ	2,485,106	106.0%	104.8%	730,998	130.5%	124.2%	1,754,107	98.3%	98.3%
えひめ	4,818,021	96.9%	97.6%	1,200,048	101.3%	98.3%	3,617,974	95.5%	97.4%
こうち	2,092,525	97.2%	96.6%	495,452	102.5%	98.2%	1,597,074	95.7%	96.1%
四国地区計	11,457,310	98.8%	98.6%	3,017,278	107.3%	103.1%	8,440,032	96.1%	97.1%
CS合計	101,802,957	100.2%	98.8%	78,694,928	101.0%	99.0%	22,531,110	97.0%	97.7%

2022年度4月1回～3月5回(金額単位:円)

	利用人数			実利用高			実利用点数		点単価	
	実績	予算比	前年比	実績	予算比	前年比	実績	前年比	実績	前年比
とつとり	1,700,705	99.9%	100.1%	3,734.0	101.7%	100.1%	10.21	97.6%	365.6	102.5%
しまね	1,964,546	99.7%	100.2%	4,031.5	100.8%	99.2%	10.76	97.2%	374.7	102.0%
おかやま	5,643,966	99.3%	99.1%	4,769.0	100.6%	99.4%	13.09	97.2%	364.2	102.3%
ひろしま	7,644,775	101.5%	100.0%	4,642.0	100.1%	98.6%	12.45	96.1%	372.8	102.6%
やまぐち	3,262,877	97.5%	99.9%	4,190.3	100.3%	99.3%	11.10	97.2%	377.5	102.1%
中国地区計	20,216,869	99.9%	99.8%	4,468.8	100.5%	99.1%	12.06	96.8%	370.6	102.4%
とくしま	2,426,131	96.4%	98.5%	849.8	100.4%	97.7%	1.15	95.9%	741.4	101.9%
かがわ	2,793,984	97.8%	99.6%	889.4	108.4%	105.2%	1.19	106.0%	749.5	99.3%
えひめ	5,924,618	98.8%	101.8%	813.2	98.1%	95.9%	1.07	93.8%	763.3	102.3%
こうち	2,056,256	96.7%	98.7%	1,017.6	100.6%	97.9%	1.32	96.3%	773.7	101.7%
四国地区計	13,200,989	97.8%	100.2%	867.9	101.0%	98.4%	1.14	97.0%	758.1	101.5%
CS合計	33,417,858	99.1%	99.9%	4,432.4	100.6%	99.0%	12.01	96.7%	393.2	102.3%

* 受注高とは、OCR等による会員生協別の受注段階での供給高です。（返品等は含んでいません）

II 2022年度 重点課題の振り返り

1. くらし・社会の変化に伴う組合員一人ひとりの多様なくらしへのお役立ちを高めます。

(1) 商品事業

- ①コープ・コレクションについて、「安心」、「おいしい」、「健康」を基本コンセプトに、「環境配慮」、「適正価格」、「簡単・便利」や「時短」の視点も加え、商品企画の提案強化に取り組みましたが、供給高は予算・前年ともに未達となりました。また、ストロング商品の継続展開については、供給高は予算・前年ともに達成しました。
- ②1年間を通じて組合員に利用しやすく、また、新たに生協に加入された若年層組合員の価格志向への対応として「年間ベストプライス」に取り組みました。子育て層や大家族など必要量が多い組合員への対応として、味彩を中心に行なう「徳用商品」を強化、また、日配・ドライ食品部門を中心に、「コープクオリティ」を積極的に導入しました。家庭用品では、「キャロット」で、もう1点のご利用をテーマに耐久消費財と消耗品の関連陳列を実施しました。
- ③組合員を取り巻くくらしや経済環境の変化を踏まえ、日本生協連と共同で「くらし応援全国キャンペーン」を実施し、値上げ前の価格、特別価格による応援企画を実施し、多くの組合員にご利用いただきました。
- ④ご高齢の組合員にとって利用しやすい媒体への改善として、「しあわせごはん」に、コンセプトが一目でわかるマーク（少量・減塩・食塩不使用・糖質オフなど）掲載を実施しました。また、フルフォトOCRの配布を継続実施し、月ごとに分析評価を行いました。
- ⑤生鮮強化の取り組みとして、農産では「簡便規格」として「カット商材」の強化や子育て層に向けて「徳用サイズ」の企画を導入しました。水産では、適量化と幅広な家族人数への対応を目的に、「2切・尾」規格の品揃え拡充やSKU拡大に取り組みました。畜産では、MD（品揃え）の考え方の統一に向け、バイヤーを県別担当からライン別担当に変更しました。また、適正農業規範の取り組みとして新たにGAP点検の導入にも取り組みました。
- ⑥日本生協連とのエリア共同開発では4品の新規開発と14品のリニューアルの検討を進めました。商品開発委員会においても、留め型商品開発やコープCSネットPB商品のリニューアルを実施しました。
- ⑦断続的な商品価格の値上げやエネルギー価格の上昇に伴う家計への負担増など、組合員の節約意識の高まりが利用に影響し、食品分野では、GP予算を確保できましたが、家庭用品では、GP予算未達となりました。



PBリニューアル品

2022年度4月1回～3月5回(金額単位:千円)

	供給剩余高(GP)			供給剩余率(GPR)			供給剩余率(GPR)			供給剩余率(GPR)				
	供給剩余高(GP)			食品GP		家庭用品GP		供給剩余率(GPR)			食品GPR		家庭用品GPR	
	実績	予算比	前年比	予算比	前年比	予算比	前年比	実績	予算差	前年差	予算比	前年比	予算比	前年比
とつとり	1,609,216	101.5%	99.9%	102.3%	100.4%	96.4%	97.2%	25.34%	-0.03%	-0.05%	0.07%	0.04%	-0.46%	-0.43%
しまね	2,037,958	100.6%	99.4%	101.5%	99.9%	95.4%	96.3%	25.73%	0.02%	0.00%	0.12%	0.10%	-0.44%	-0.42%
おかやま	6,928,107	99.5%	98.1%	100.1%	98.4%	95.5%	96.2%	25.74%	-0.10%	-0.11%	-0.01%	-0.02%	-0.46%	-0.43%
ひろしま	9,139,851	101.4%	98.4%	102.2%	98.8%	96.9%	96.1%	25.76%	-0.05%	-0.05%	0.04%	0.03%	-0.44%	-0.41%
やまぐち	3,489,345	97.5%	98.9%	98.2%	99.3%	93.6%	96.8%	25.52%	-0.06%	-0.06%	0.04%	0.02%	-0.47%	-0.43%
中国地区計	23,204,477	100.2%	98.6%	100.9%	99.0%	95.8%	96.3%	25.68%	-0.06%	-0.06%	0.04%	0.02%	-0.45%	-0.42%
とくしま	509,227	95.6%	95.1%	101.7%	96.9%	93.1%	94.3%	24.70%	-0.31%	-0.31%	0.11%	0.12%	-0.51%	-0.48%
かがわ	619,375	105.2%	104.0%	131.8%	125.1%	96.4%	96.5%	24.92%	-0.19%	-0.19%	0.16%	0.19%	-0.48%	-0.46%
えひめ	1,186,616	95.5%	96.2%	101.2%	98.4%	93.5%	95.4%	24.63%	-0.37%	-0.36%	-0.02%	0.03%	-0.52%	-0.49%
こうち	516,607	95.8%	95.2%	102.6%	98.3%	93.7%	94.2%	24.69%	-0.36%	-0.36%	0.03%	0.04%	-0.51%	-0.49%
四国地区計	2,831,826	97.5%	97.4%	107.6%	103.4%	94.1%	95.2%	24.72%	-0.32%	-0.31%	0.06%	0.09%	-0.51%	-0.48%
CS合計	26,036,304	99.9%	98.5%	101.1%	99.1%	95.1%	95.9%	25.58%	-0.09%	-0.09%	0.04%	0.02%	-0.47%	-0.45%

2. 連帯強化による共同化、最適化を追求し、会員生協の事業・経営への貢献度を高めます。

(1) DX-COOP

- ①2021年秋より宅配リノベーションプロジェクトを会員生協と共に立ち上げ、日本生協連のトライコープ・宅配保冷ボックス・配達コース最適化・配達コンシェルジュ、また、WEB加入シ

システムやタブレット端末の導入など多岐にわたって協議及び実験を実施しました。

②宅配リノベーションの取り組みの一環として「コープアプリ」の開発を進め、2022年1月にリリースを開始し、2023年3月末時点では9会員生協で18万を超えるダウンロード数となりました。リリース後も組合員活動アプリ・配達状況確認などの機能をバージョンアップしました。

③CRMの推進では2023年度からの取り組みとして、OCRでのOneToOneレコメンド強化、知っ得コープ商品の写真掲載、フルフォトOCRの年代別配布などの準備を行いました。また、コスト削減の取り組みとしてOCR用紙・カタログの不要受付を実施し、媒体数の削減につなげました。

④4月より生協ひろしま、5月よりおかやまコープ、また、11月からは四国3県（とくしま生協・コープえひめ・こうち生協）でコープアプリのキャッシュレス決済も無事にスタートしました。（コープかがわは先行して2022年3月開始）



コープアプリ



「知っ得！コープ」新加入者に配布

(2) 事業活動支援

①会員生協運営課題の達成に向け、重点商品学習会をハイブリッド形式で開催しました。また、商品プレゼンテーション動画の作成、WEBによる会員生協訪問等で意見交流しながら供給促進活動の支援を行いました。



重点商品学習会（ハイブリット形式）

②全体物流統合に向け東部生鮮物流の協議を行い、災害時のBCP対策含め各事業所の作業改善・効率化につながる仕組みの導入や将来的な拡張計画を含め、2024年度の稼働に向け準備を進めました。

③組合員サービスセンターの損益改善に向けて、派遣オペレーターを中心とした投入人時の抑制や、応答率への影響を考慮しながら、入電数の減少に対応した人時削減を図りました。

(3) 会員生協との連携

①四国会員生協との相互メリット追求のため、コープ商品に関しては、エリア共同開発会議や日本生協連中四国支所・コープしこく・コープCSネット3者合同での部門別協議会を開催しました。NB商品に関してはコープしこくと冷凍商品・ドライ商品分類の合同取り組み会議を開催しました。

②生協ブランドの認知向上に向けた広報として、公式インスタグラムでふあみーゅとコラボした子育て層向けの投稿を毎週発信し、特にきらきらステップとコラボしたキャンペーンではフォロワー数が増加しました。また、SNSでいただいた声をふあみーゅ誌面で紹介するなど、紙面とSNSの連動した取り組みを行いました。

③コープCSネット主催会議で、会員生協間の交流や協議が中心となるよう、議案内容（協議事項・報告事項の区分分け）の整理や、報告資料を簡潔にまとめるなど運営改善を行いました。

④運営改革課題を進めていくうえで、おかやまコープ・生協ひろしまと実験提案等を先行実施し、その結果を踏まえ、他の会員生協へ取り組みを広げました。

(4) 店舗事業

①共同仕入では日本生協連の菓子分野再編により1社の帳合先変更を決定し一時金は増加となりました。共同調達ではコープCSネットも菓子・洋日配分野再編により、菓子分野63社、洋日配分野21社の帳合先変更を決定し納価改善に繋げました。

②店舗事業省人化の先進事例研究として、会員生協と合同で九州エリアの小売業の大手企業へ視察を行いました。また、各種委員会や店舗運営交流会等で、店舗事業のシステム・インフラ含むコスト削減や効率化に向けた共同化メリットの協議や交流を行い、第7次中期計画の重点課題を確認しました。

(5) システム運用

①宅配リノベーションPJの課題である「住所変更手続き」「減資申込手続き」「脱退手続き」「組合員情報閲覧」などのWEB化に向け、検討を進め提案を行いました。

3. 会員生協と連携し、未来につながる人材基盤づくりをすすめます。

(1) マネジメント、人材育成

①今後増加する幹部職員の定年退職を踏まえ、次期幹部職員の育成のため、中堅クラス職員向けにマネジメント研修を継続して実施しました。また、会員生協と連携し、将来に向けたコーポCSネットの組織体制案をもとに調整協議を行いました。

②業務運営改善のため、取引先向け電子請求書、電子書庫、電子契約書、経費精算システム及びワークフローの導入に向けて、取引先や関係部署との協議を進めました。

③日本生協連の組織開発・人材育成交流会に参加し、教育研修関連、業務改善・標準化及び採用活動等について会員生協と交流を深めました。

4. SDGsの実現に向けた社会貢献活動に会員生協とともに取り組みます。

(1) SDGsの実現

①会員生協のエシカルキャンペーンについて、景品手配などの支援を実施しました。また、フリーリアバラン産地視察や「もずく基金」オンライン交流会の開催、eふれんず組合員を対象とした(株)カゴメとの共同主催によるオンライン料理教室などを開催しました。

②折り鶴昇華再生事業の取り組みでは、タオルハンカチの新色を新規で取り扱い、旧タイプと合わせると前年の2倍の実績となりました。また、折り鶴昇華再生事業の取り組みに賛同された企業より新規で注文をいただきました。また、広報担当者交流会で折り鶴昇華再生商品の情報提供を行い、会員広報誌に掲載いただくなど、会員生協と連動した取り組みも進めました。



新規商品 折り鶴タオルハンカチ

③「もずく基金」の取り組みは、4月に合同贈呈式及び恩納村コーポサンゴの森連絡会にて「Honey&Coralプロジェクト」の一環となる植樹祭、8月に組合員向け夏親子オンライン交流会、10月に恩納村コーポサンゴの森連絡会参画の事業連合、各生協によるオンライン交流会、11月に総会及び恩納村漁協設立50周年記念式典が開催されました。



もずく基金 合同贈呈式

④コーポCSネットの環境政策の取り組みについて、モニタリング指標に基づき四半期単位で取りまとめと評価を実施しました。エシカル消費の推進や温室効果ガス排出削減に向け取り組みを進めました。



リサイクルオリコン
側面に印字

⑤廃棄オリコンを利用したリサイクルオリコンの運用を開始しました。また、廃棄する生鮮シッパーを活用したリサイクルシッパーについては、現場レベルでの耐久テストなどの実験を実施しました。

⑥CO₂排出量抑制のため、本部事務所の照明装置を蛍光灯からLED照明へ切り替えました。また、公用車1台がリース契約期間満了となった為、ガソリン車からハイブリッド車へ変更を行いました。

5. 急激な社会変化を敏感に捉え、社会的責任を意識した経営をすすめます。

(1) 経営、収支管理

- ①燃料費、人件費等の高騰に伴う物流コスト増への対応については、中国地区会員生協より追加でご負担をいただきました。また、全体費用負担の見直しについては、物流統合後に協議に入ることを確認しました。
- ②損益管理、適切な経費執行管理・取得利益管理の徹底のため、決算時の管理指標を明確にし別帳票で管理を行いました。また、経費管理徹底のため科目別点検を実施しています。
- ③物流肩代わり料の解消に伴う収入への影響については、旧物流肩代わり料算出額と帳合料に振り替えた収入額の両面で検証を実施し、収入額に影響がないことを確認しました。

(2) 業務の適正化（効率、公正〈法令順守〉）の確保

- ①ISO外部更新審査を8月に受審し、軽微な不適合が1件、観察が5件、改善の機会が5件という結果になりました。軽微な不適合は、是正処置対応が適切と判断され、9月に「認証証明書」が発行され更新審査は終了しました。
- ②下請対象取引先について5月に「公正取引（優越的地位の濫用）に関する対応表」を参照し、対象外項目（支払いサイト、チラシ掲載料又は販促費、情報処理手数料など）、取引に適用されるルール等について部署内職員に再確認を実施しました。また、新出向者へもその都度教育を行っています。
- ③法改正（公正取引、車両運送法、電子帳簿保存法、酒税法、水産流通適正化制度など）への対応についてその都度準備し対応を行いました。5年単位の広島県の指導検査、公正取引委員会の実地調査が実施されました。
- ④第17回通常総会議案書より収益認識会計処理を実施しました。インボイス関連では消費税端数処理について会員生協と協議を重ね統一した変更内容を確認し、今後システム改修や組合員向け告知等の準備を実施していきます。

(3) 品質保証

- ①人材不足対応を鑑み、中四国地区の検査体制の再構築のため、日本生協連品質保証連帯課題ワーキンググループにおいて12月より協議を開始しました。今後協議内容を踏まえて中四国地区での論点整理を行っていきます。検査業務内容や標準作業書、微生物基準など個別課題については、会員生協交流会等で意見交換を行いました。
- ②重大事故が懸念される苦情案件については、予兆監視し自主検査や先行調査でリスク判定し、あわせて商品部門と連携することで商品クライシス案件の発生はありませんでした。また、2月にコープCSネット内でクライシス演習をおこないました。
- ③ゲノム食品、遺伝子組み換え、化学物質の取り扱いなどについて、商品安全指針を改定し会員生協へ案内しました。その他、食品安全に関する法令改正など情報収集し、都度、会員生協へ案内しました。商品安全政策の改定については、法改正のタイミングと栄養成分の調査研究などの結果なども踏まえ、次年度上期中を目途に再改定に取り組みます。



開発商品・品質保証研修会

(4) BCP対応

- ①危機管理規程及び付属マニュアル（地震対応・大雨、台風対応）について体制変更に伴う一部改定と通信障害対応マニュアルの追加を行いました。また、緊急支援物資の考え方や運用の見直しを実施し、9会員生協のBCP担当と意思統一を図りました。

- ②非常時や災害時を想定し、安定した通信を確保し正確な伝達をより確実にすることを目的にMCA無線訓練を実施しました。
- ③2023年1月より第2組合員サービスセンターを稼働し、鳥取県生協・おかやまコープの注文受付業務を移管しました。同時にAI注文システム対応による24時間注文受付業務も稼働しました。

以上

なお、本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正を理事会に一任願います。

決算関係書類

貸 借 対 照 表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	18,005,485	流動負債	16,160,389
現金預金	1,876,076	買掛金	13,062,342
供給未収金	13,845,361	短期リース債務	32,025
商品	285,270	未払金	869,650
前払費用	13,384	未払法人税等	56,042
未収金	1,979,947	未払消費税等	995
立替金	5,330	未払費用	2,071,092
その他	114	預り金	26,735
		賞与引当金	41,503
固定資産	1,125,668	固定負債	245,169
有形固定資産	313,532		
建物	7,290	長期リース債務	229,903
減価償却累計額	2,880	退職給付引当金	15,266
建物附属設備	62,659		
減価償却累計額	55,112		
構築物	864		
減価償却累計額	705		
機械装置	46,995		
減価償却累計額	40,201		
車両運搬具	8,096		
減価償却累計額	7,713		
器具備品	328,468		
減価償却累計額	210,406		
リース資産	533,097		
減価償却累計額	356,920		
		負債合計	16,405,559
無形固定資産	663,109	(純資産の部)	2,725,594
ソフトウェア	663,109	会員資本	1,091,000
		出資金	1,091,000
		剩余金	1,634,594
		法定準備金	451,000
		任意積立金	687,000
		物流最適化積立金	195,000
		システム開発積立金	285,000
		品質管理強化積立金	30,000
		ブランド強化積立金	22,000
		別途積立金	70,000
		災害支援積立金	85,000
		当期末処分剰余金	496,594
		(うち当期剰余金)	(424,354)
その他固定資産	149,026		
関係団体等出資金	45,025		
関係団体出資金	25,025		
子会社等株式	20,000		
差入保証金	48,624		
長期前払費用	9,438		
繰延税金資産	45,938		
		純資産合計	2,725,594
資産合計	19,131,153	負債・純資産合計	19,131,153

損 益 計 算 書

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

科目	金額
供給事業	
※(会員生協との取引価額総額)	(88,074,903)
供給高	76,609,933
供給原価	
期首商品棚卸高	337,475
仕入高	72,999,947
仕入値引	$\triangle 1,057,125$
合 計	<u>72,280,297</u>
期末商品棚卸高	<u>285,270</u>
供給剰余金	<u>71,995,027</u>
	<u>4,614,905</u>
分担金収入	617,455
その他手数料収入	
事業総剰余金	<u>1,035,400</u>
	<u>6,267,761</u>
事業経費	
人件費	1,573,049
物件費	<u>4,215,532</u>
事業剰余金	<u>5,788,581</u>
	<u>479,179</u>
事業外収益	
受取配当金	125
受取債貸料	7,608
折鶴関連収入	7,458
雑収入	<u>20,603</u>
	<u>35,794</u>
事業外費用	
支払利息	23,172
折鶴関連費用	6,414
雑損失	<u>6,630</u>
経常剰余金	<u>36,217</u>
	<u>478,757</u>
税引前当期剰余金	478,757
法人税等	56,068
法人税等調整額	$\triangle 1,665$
当期剰余金	<u>54,402</u>
当期首繰越剰余金	<u>424,354</u>
当期末処分剰余金	<u>72,239</u>
	<u>496,594</u>

※会員生協との取引価額総額は、会員生協へ提供した商品に対する金額の総額です。消費生活協同組合法施行規則上、損益計算書の記載事項とされていませんが、決算関係書類の利用者にとって有用な情報であると考え、自主的に記載しております。

剩 余 金 処 分 案

(単位：円)

項目	金額
I. 当期末処分剰余金	496,594,487
II. 剰余金処分額	
1. 法定準備金	43,000,000
2. 利用分量割戻金	299,999,200
3. 出資配当金	10,910,000
4. 任意積立金 災害支援積立金	<u>80,000,000</u>
	<u>433,909,200</u>
III. 次期繰越剰余金	62,685,287

(注記)

1. 利用分量割戻金は次の基準に基づいて行います。
宅配事業(中国地区)について、供給高に供給値引・ポイント供給値引を含めた額の0.3679123%としています。
2. 出資配当率は年1.0%（源泉税、復興特別所得税を含む）とします。計算方法は各会員生協の払込済出資額を対象としています。
3. 次期繰越剰余金には、生協法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金として22,000千円が含まれています。